

# 進捗報告書（実行団体）

事業名:	”孤育て”防止対策地域資源有効活用事業
資金分配団体:	特定非営利活動法人こどもサポートふらの
実行団体名:	特定非営利活動法人こどもサポートふらの
実施時期:	2021年3月～2022年2月
事業対象地域:	北海道
事業対象者:	富良野管内の親子

Version 1.2

日付: 2021年9月2日

## I. 事業概要

<b>事業概要</b>
居場所や相談先がなく、孤育て状態となっている親子のストレス緩和のために、孤立を防ぎ、繋がれる「場」を地域の人材と協力しあい、民間として継続提供を行う。具体的には、①当法人のファミサポアドバイザー等個人宅の庭を開放（毎回1-2組ずつ親子や不登校の子どもに場所を開放し、母親の話し相手や、子どもの遊び相手になって、親と子ども双方にとってのストレス解消をはかる） ②公的な子育て支援センターがコロナ対策で利用制限等がかかり機能してないため、代替案として「ミニ交流会」を定期的に開催し、参加親子同士の繋がりや関係作りをサポートしたり、講師を招き子育て関連の勉強会や講習を行う。

## II. 進捗報告の概要

<b>総括</b>
3月からの事業展開後、SNS、スタッフの声掛け、チラシ、口コミ等の案内で徐々に周知ができた。①お家パークでは、個人宅を開放かつ、担当アドバイザーが親身になり対応する様子から、徐々に定着し、想定よりも多い回数が必要とされた。②ミニ交流会ではリピーターの利用だけでなく、初めての利用の方も巻き込み、つながりを展開する場を提供。両事業ともに、コロナ対策として始めたけども、その前よりも、個別対応やアウトリーチのニーズや重要性があったのだなと、はっきりとした手ごたえとして見えてきたため、両事業の必要性を改めて感じている。

## III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
活動を通じ、子育て世代の孤立を防ぎ、事業以外の場での交流が主体的に行われる	<p>お家パーク 実際に開始すると、利用希望の声が予想以上に多く、かつ必要と思われる人に声掛けをしていき、利用者との関係性を築けている。特に5月中旬から6月中旬のコロナ緊急事態宣言下において、まさに行き場のない親子のための居場所となり、開催回数は増えた。また、夏休み期間は普段登園や登校で利用しない親子の参加や発達支援サービス団体との交流もあり、活動の幅を感じることができた。利用者の声は集計アンケート参照。（別紙利用者数や内容レポート参照）</p> <p>ミニ交流会 毎月予定通りの開催+他にも施設開放日を設け、日常的に対象者が利用しやすい環境づくりを務めており、繰り返し利用者同士が会うことでより当事者同士がよりつながりやすくなっている。5月中旬～6月中旬のコロナ緊急事態宣言下においては、公でのミニ交流会開催は自粛した。その間もフォローが必要そうな対象者への個別対応を継続した。（別紙、個別対応実績表参照）</p>

活動	進捗状況	概要
お家パーク	ほぼ計画通り	毎回1-2組の親子、及び学童期の子どもを対象に、当法人アドバイザーや地域住民の個人宅の庭を開放し、親の話し相手や子どもの遊び相手になることで孤立状態からの解放。 ※緊急事態宣言下ではまさに行き場を求めて、利用希望の声が増え、対応した。
ミニ交流会	ほぼ計画通り	各回5組ほどの乳幼児連れ親子を募り、同世代の子供を持つ親同士がつながる場作り。交流会では、子供の年齢に合わせた簡単な運動や、手遊びなどを取り入れ、子供とのかかわり方を親も学ぶ場を提供をしていき、子供も体を動かすことで、心身の発達を促す。 ※緊急事態宣言下では、個別対応を臨機応変に行った。

#### IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
<p>一年後の目標：当法人のアドバイザーを通さずとも、参加者同士が子育ての相談や話ができる関係となり、子供が成長しても、互いに支えあえること、また、学校に行くことのできない子どもたちが安心していられる居場所を作ることを目標とする。</p> <p>であるが、実際に事業での活動を通じ、参加者同士が関係性を築きつつある。お互いの連絡先を交換したり、往來があったりと日常的に関わり・支えあっている様子が見られる。居場所としての拠点施設は利用者支援事業として、取り組むことが出来るよう次年度以降の使用も自治体と協議中である。</p>

#### V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥515,020	¥3,697,042	¥4,212,062	¥1,726,803	41%
	管理的経費	¥62,639	¥355,191	¥417,830	¥129,287	31%
合計		¥577,659	¥4,052,233	¥4,629,892	¥1,856,090	40%
補足説明		8月分の賃金、水道光熱費、賃料など9月以降の支払い かつ 保険料も年度末精算のため、前期分にて未払いのため				

#### VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>コロナ感染症が懸念ではあったが、検温・手洗い・消毒などの対策を徹底したり、緊急事態宣言下での活動方法も適宜対応を検討して継続したため、リスクを心配する声は見受けられなかった。事業開催中の、事故やケガも幸い発生していない。</p> <p>この夏は北海道らしからぬ真夏日が続く、暑さ対策や天候による開催の難しさの課題も見えた。お家パークでは8月の猛暑日は利用者が少なかったが、水遊びをし、タープを設置して日陰を作りながら、水の事故・熱中症に気を付けながらの活動となった。また「ふらりえ」も暑すぎるため、交流会開催が難しく 公共施設などで涼しい場所を活用しながら、乗り切った。</p>

#### VII. その他

自由記述
特になし

#### VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	北海道新聞（富良野版）に3回掲載（4/17、4/24、5/11）→法人レポート添付参照
広報制作物等	有	案内チラシ ふらりえ通信5月（添付参照） ラクスル 2500部印刷 ¥7631円
報告書等	有	レポート（お家パーク、ミニ交流会）添付参照

#### IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	